

令和 4 (2022) 年度
「人間の安全保障」プログラム学生募集要項
(修士課程・一般選抜)



東京大学大学院総合文化研究科

- 「人間の安全保障」プログラム修士課程（一般選抜）学生募集要項 ----- 1頁～6頁
- 「人間の安全保障」プログラム修士課程（一般選抜）入学試験案内 ----- 7頁～9頁
- 東京大学大学院総合文化研究科 検定料払込方法
（※銀行振込以外の方法での振り込み案内） ----- 10頁

- 別紙案内「出願者情報のオンライン登録と受験票のダウンロードについて」
※10月上旬頃公表予定（9月10日修正）

【本研究科所定の様式】※10月上旬頃公表予定（9月10日修正）

- 入学願書(B)
- 論文添付票
- 論文要旨添付票
- 出願書類等送付用ラベル
- 出願書類等提出明細
- 日本語能力証明書

令和4(2022)年度 東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム 修士課程(一般選抜)学生募集要項

言語情報科学専攻・超域文化科学専攻
地域文化研究専攻・国際社会科学専攻
広域科学専攻

教育研究上の目的

本研究科は、学際性および国際性を教育・研究の柱として専門分野についての深い理解の上に立った領域横断的研究による知の創成をめざし、確かな教養に支えられた総合的判断力をもって現代の社会と科学技術の様々な課題に取り組む能力をもち、教育・研究の分野のみならず社会の実践的分野においても国際的に指導的役割を果たすことのできる人材を養成することを目的とする。

入学者受入方針

東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム修士課程では、以下の求める学生像及び入学者選抜の基本方針に基づき、入学者の選抜を行います。

求める学生像

「人間の安全保障」の理論と実践に強い関心をもち、多様な諸分野を学びながら自らの専門性を形成して、将来、国際社会で活躍しようとする学生。また、安心して暮らせる平和な社会の構築を世界共通の課題として捉え、日本から世界に向けて積極的に発信しようとする学生。

入学者選抜の基本方針

- ・志望する専門分野に関する十分な知識を身につけているとともに、当該分野と関連する学問全般にわたって幅広い知識や教養を有していること。
- ・単なる知識の量だけでなく、そこから自らが主体的に新たな問題を発見し、知識を獲得しながらその問題を解決する能力、創発的な議論を展開する能力を具備していること。
- ・当該分野に係る資料・文献を読みこなすことができ、将来国際的な場でも活躍し得るだけの語学力の基礎を具備していること。

1. 出願資格

- (1)日本の大学を卒業した者及び令和4(2022)年3月31日までに卒業見込みの者(第1号)^{註1)}
- (2)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4(2022)年3月31日までに修了見込みの者(第2号)^{註2)}
- (3)外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者(第3号)^{註2)}
- (4)文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び令和4(2022)年3月31日までに修了見込みの者(第4号)^{註3)}
- (5)大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与される見込みの者(第5号)
- (6)個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が

認めた者で、入学時において22歳に達しているもの(第6号)^{注1)}^{注4)}

注1)上記(1)、(6)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

注2)上記(2)、(3)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

注3)上記(4)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業生(修了者)等を示す。

- ・文部科学大臣の指定する外国学校日本校
- ・文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)
- ・旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

注4)①上記(6)に該当する者とは、上記(1)から(5)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業生(修了者)等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者とする。

②上記(6)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、本研究科の指定する書類等を、令和3(2021)年9月21日(火)から9月28日(火)までに、本研究科事務部(6.(4))に提出すること。出願資格及び提出書類等については、事前に本研究科事務部に問い合わせること。

③上記(6)に該当する者で、入学資格審査で日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。なお、審査の結果は、令和3(2021)年10月29日(金)頃各自に通知する。

2. 募集人員

(1)「人間の安全保障」プログラムの学生は、以下の5専攻のいずれかに所属しつつ、プログラム独自のカリキュラムを履修する。

| 専 攻 | 募集人員 |
|-------------|--------|
| 言 語 情 報 科 学 | } 16 名 |
| 超 域 文 化 科 学 | |
| 地 域 文 化 研 究 | |
| 国 際 社 会 科 学 | |
| 広 域 科 学 | |

(2)試験の成績によっては、合格者数が募集人員を上回る場合又は下回る場合がある。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、次の方法による。

第1次試験：専門科目(「人間の安全保障」プログラム)筆記試験及び出身学校の学業成績の審査による。

第2次試験：提出論文等、研究計画書及び英語能力を証明する書類の審査並びに口述試験による。

(1)第2次試験は、第1次試験合格者に対し日本語で行う。

(2)外国語の試験は行わず、英語能力を証明する書類(7.エ.)の審査によって代える。

(3)外国人出願者は、日本語能力証明書(7.サ.)も審査の対象とする。

4. 試験期日及び場所

(1) 第1次試験(専門科目筆記試験)

期 日 令和4(2022)年1月22日(土)

場 所 東京大学大学院総合文化研究科

時間、試験室等については、受験票とともに配付する「受験者心得」による。

(2) 第2次試験(口述試験)

期 日 令和4(2022)年年2月17日(木)

場 所 東京大学大学院総合文化研究科

第1次試験合格者(口述試験受験対象者)の受験番号等は、令和4(2022)年1月28日(金)正午に、総合文化研究科掲示場(東京大学教養学部正門入って左側)及び本研究科ホームページ(URL <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/index.html>)に発表するとともに本人宛に通知する。

なお、電話等による問い合わせには一切応じられない。

試験日時及び試験室等については、令和4(2022)年2月9日(水)正午に、総合文化研究科掲示場(東京大学教養学部正門入って左側)及び本研究科ホームページ(URL <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/index.html>)に発表するとともに受験対象者各自に通知する。

5. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者発表

第2次試験合格者(入学許可内定者)については、受験番号を令和4(2022)年3月1日(火)正午に、上記掲示場及びホームページに発表するとともに本人宛に通知する。

なお、電話等による問い合わせには一切応じられない。

(2) 入学許可の通知は、令和4(2022)年3月1日(火)頃、本人宛郵送により行う。

(3) 入学許可の通知を受けた者は、その際に送付された入学手続要領に従って、令和4(2022)年3月中の所定の期間内に、必要な入学手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。

所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱う。

(4) 入学時に必要な経費(令和4(2022)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

入 学 料 282,000 円(予定額)

授 業 料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)(予定額)

注)上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

6. 出願方法

(1) 入学願書(A)は事前に「出願者情報登録システム」へオンラインで情報登録をすること。詳細については、別紙案内を参照すること。

(2) 出願は、「7. 出願書類等」を一括して「ク. 出願書類等送付用封筒」に入れ、書留速達郵便で郵送すること。また、一部の指定された出願書類は、電子データをオンライン上の指定の場所にアップロードすること。詳細は、本研究科ホームページ(URL <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/index.html>)で確認すること。

※出願には、郵送による書類提出と、電子データのアップロードの両方が必要となる。いずれか片方のみの提出は受け付けない。

ただし、オ.カ.については、電子データのみの提出となる。

(3) 受付期間

- 出願者情報登録期間 令和3(2021)年11月9日(火)から11月15日(月)午後4時(日本時間)
※出願書類等アップロード及び郵送に必要な書類の作成に必要となるため、なるべく早めに登録すること。
- 出願書類等アップロード期間 令和3(2021)年11月9日(火)から11月15日(月)午後4時(日本時間)
- 出願書類郵送受付期間 令和3(2021)年11月9日(火)から11月15日(月)
(令和3(2021)年11月16日(火)以降に到着したものについては、11月15日(月)までの消印のあるものに限り有効とする。)

(4) 郵送先・問い合わせ先 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
 東京大学大学院総合文化研究科事務部教務課総合文化大学院チーム
 電話 03-5454-6050(6049)
 Email daigakuin.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

7. 出願書類等

下記ア.イ.ウ.キ.ク.ケ.コ.サ(外国人出願者のみ).を出願時に提出すること。

エ.オ.カ.は、第1次試験合格者のみが提出すること。エ.オ.カ.の提出期日や内容の詳細等については、修士課程入学試験案内5.を参照すること。

| 書類等 | 提出者 | 摘要 | 電子データのアップロードの要否 |
|---|-----|--|-----------------|
| ア. 入学願書(A) (「出願者情報登録システム」に必要な事項を入力の上、出力するもの) | 全員 | 「出願者情報登録システム」に必要な事項を正確に入力すること。 顔写真データ(上半身無帽、正面向き、出願前3ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの)をアップロードすること。顔写真データの形式は、特に問わない。 なお、顔写真データは、試験実施の際の本人確認に使用する他、学生証作成の際にも使用する。 | |
| ア. 入学願書(B) | | 本研究科所定の様式に、必要事項を正確に記入すること。 | |
| *イ. 成績証明書 (原本に限る) | | 出身学校において発行されたもので、大学在学時のすべての成績証明書を提出すること。 | 要 |
| *ウ. 卒業証明書 (原本に限る) | | 在学中の者は3月の入学手続の際に提出すること。卒業見込証明書は不要。 なお、外国の大学を卒業した者は、学士の学位が確認できる証明書を併せて提出すること。 また、外国の大学で証明書を発行できない場合があれば、事前に本研究科事務部(6.(4))に問い合わせること。 | 要 |
| *エ. 英語能力を証明する書類 | | 出願時から起算して2年以内に受験したTOEFL(PBT又はiBT)又はIELTS(Academic Modules)の成績票を提出すること。なお、英語圏の大学、国際機関などで発行されたアカデミックな英語力を証明する書類がある場合には、TOEFL又はIELTSのスコアに代えることを認めることがある(修士課程入学試験案内5.を参照)。 | 要 |
| **オ. 論文等 | | 指定された課題(修士課程入学試験案内5.を参照)を作成し、提出すること。 | 要 |
| **カ. 研究計画書 | | 指定された書式(修士課程入学試験案内5.を参照)により作成し、提出すること。 | 要 |

| | | | |
|-------------------------|--|---|---|
| キ. 出願書類等送付用ラベル | | ラベルは印刷し、出願書類等送付用封筒に貼付すること。 | |
| ク. 出願書類等送付用封筒 | | 大きさは、角形2号(縦 332mm×横 240mm)とし、出願書類等送付用ラベルを貼付し、必要な書類を入れた後、書留速達扱いとして郵便局窓口で差し出すこと。 | |
| ケ. 出願書類等提出明細 | | 本研究科所定の様式に、必要事項を正確に記入すること。 | |
| コ. 検定料 | 全員 (外国人出願者のうち日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料は不要。ただし、本学に在学中(研究生を含む)の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書を提出すること。) | 30,000 円 納付期間：令和3(2021)年10月25日(月)から11月15日(月) 【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込】若しくは【クレジットカード・中国オンライン決済(アリペイ・銀聯)での払込】のいずれかに限る。いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。 (1)【銀行振込の場合】 所定の振込依頼書(※)に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局不可)から振り込むこと(ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと)。 振り込みの際、振込金受取書(B票)及び振込金受付証明書(C票)を受け取り、振込金受付証明書(C票)を入学願書の所定欄に貼り付けること。 振込金受取書(B票)は領収書なので、大切に保管すること。 ※出願者情報を登録後に、様式ダウンロード用のURLが通知される。 ※ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネットでの振込では、「振込金受付証明書(C票)」が発行されないので利用しないこと。 (2)【コンビニエンスストアでの払込の場合】 セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップに限る。 払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院総合文化研究科 検定料払込方法」を参照のうえ、払い込むこと。払い込み後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の所定欄に貼り付けること。 (3)【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込の場合】 払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院総合文化研究科 検定料払込方法」を参照のうえ、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【お客様番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封すること。 (4)【クレジットカード・中国オンライン決済(アリペイ・銀聯)での払込の場合】 クレジットカードは、ビザカード(VISA)、マスターカード(Master)、JCBカード、アメリカン・エクスプレスカード(American Express)が利用可能。 払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院総合文化研究科 検定料払込方法」を参照のうえ、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封すること。 | |
| *サ. 日本語能力証明書 (原本に限る) | 外国人出願者 | 本研究科所定の用紙に日本語の指導教授又はこれに準ずる者が記入したもの。ただし、日本の大学を卒業した者又は卒業見込みの者及び日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は、提出不要。 | 要 |

(注1) 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書、文書、資料等には、すべて日本語訳又は英語訳を提出すること。

(注2) *印は、原本をスキャンまたは印字されている文字が読めるように撮影の上、電子データをオンライン上の指定の場所にアップロードすること。原本については、他の出願書類と一緒に(エ.については、別途定められた期限までに)郵送すること。なお、原本及び電子データの内容は、必ず同一のものとすること。

(注3) **印は、所定の期間(修士課程入学試験案内5.を参照)に電子データをオンライン上の指定の場所にアップロードすること。(郵送での提出は不要。)

8. 注意事項

- (1)他の研究科等と重複して入学することはできない。
- (2)出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めない。また、検定料の払い戻しはしない。ただし、出願以降において、氏名、現住所、受信場所等に変更が生じた場合には、速やかに本研究科事務部(6.(4))に届け出ること。
- (3)受験票は、令和3(2021)年12月10日(金)に「出願者情報登録システム」からダウンロード可能となるので、各自ダウンロードすること。ダウンロードができない場合は、本研究科事務部(6.(4))に連絡すること。
- (4)障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願前のできるだけ早い時期に本研究科事務部(6.(4))に申し出ること。
- (5)事情によっては、出願手続、試験期日等を変更することがある。その場合は、本研究科ホームページ (URL <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/admission/master-doctor/index.html>) に情報を掲載するので、随時確認すること。
- (6)外国人は、入学手続までに、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (7)入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (8)出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (9)入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (10)出願書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (11)東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っている。
規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室ホームページを参照すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>

令和3(2021)年7月

「人間の安全保障」プログラム修士課程（一般選抜）入学試験案内

この案内書は、東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム修士課程（一般選抜）学生募集要項を補足するものである。

1. 募集人員について

「人間の安全保障」プログラムでは、各専攻別に募集人員を定めず、プログラム全体として学生を募集する。

ただし、志願者は、各自の研究テーマに基づき、志望専攻(分野・系)を決めて出願しなければならない。入学後は、当該専攻(分野・系)に所属しつつ、本プログラムのカリキュラムを履修する。

2. 選抜方法について

(1) 第1次試験における筆記試験科目は、専門科目のみである。

専門科目試験結果、入学願書、出身学校の学業成績を総合的に判断したうえで、第1次試験合格者(口述試験受験対象者)を決定する。

(2) 第1次試験合格者は、所定の期間内に、提出書類工. オ. カ. (下記5. 参照)を提出しなければならない。

(3) 第2次(口述)試験は、提出書類工. オ. カ. 及び「人間の安全保障」分野等について行う。

3. 出願書類等作成について

(1) 入学願書(A)は、「出願者情報登録システム」に必要事項を正確に入力し、作成されたPDFファイルを印刷すること。詳細は、別紙案内を参照すること。

また、入学願書(B)は、本研究科所定の様式をダウンロードし、必要事項を正確に記入すること。

(2) 成績証明書は、大学在学時のすべての成績証明書を提出すること。「履歴事項」欄に記載のある複数の大学(院)及び外国の大学(院)(単位互換制度等で留学したものを含む)についても、卒業(修了)・中途退学の如何によらず、成績証明書の発行可能なものについてはすべて提出すること。

(3) 氏名は戸籍等のおりとし、提出書類(各種証明書、論文等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合には、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。

また、願書に記載されている氏名と各種証明書等に記載されている氏名が異なる場合は、同一であることが確認できる証明書を添付すること。

(4) 出願書類等は、【出願書類等提出明細】の順に整理して封入すること。

4. 社会人の受入れについて

本プログラムは、基本的には、大学院設置基準第14条に定める「教育方法の特例」(いわゆる社会人大学院)には該当しない。ただし、職業人の修学を考慮し、一部の科目については、第6時限目(18時45分～)や土曜日に開講したり、集中講義とするなどの配慮を行っている。なお、書面による「学業専念に関する証明書」等の提出は求めない。

5. 提出書類エ(英語能力を証明する書類)．オ(論文等)．カ(研究計画書)．について

- (1) 第1次試験(専門科目筆記試験)合格者は、下記(5)のとおり、提出書類エ(英語能力を証明する書類)．オ(論文等)．カ(研究計画書)．を提出すること。
- (2) 提出書類エ．オ．及びカ．の電子データ(PDFファイル)をオンライン上の指定の場所に所定の期限までにアップロードすること。ファイルのアップロードに関する詳細は、本研究科ホームページ(URL <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/index.html>)で確認すること。
また、提出書類オ．のPDFファイルの1ページ目には、それぞれ、本研究科所定の様式に必要事項を記入した「論文添付票」「論文要旨添付票」を付けること。提出書類カ．及びその他の研究業績については、PDFファイルの1ページ目に、表題・志望専攻(分野・系)名・氏名及び受験番号を記入すること。
- (3) 第1次試験合格者は、提出書類エ．を各自で用意した封筒等に入れ、郵便局で「書留速達郵便」と指定して送付すること。
- (4) 下記期間内に提出書類エ．オ．カ．を提出しなかった第1次試験合格者に対しては、第2次試験を実施しない。
- (5) 受付期間

第1次試験合格者：

令和4(2022)年1月28日(金)から2月1日(火)まで

(令和4(2022)年2月2(水)以降に到着したものについては、2月1日(火)までの消印のあるものに限り有効とする。日本国外から郵送する場合は、事前に本研究科事務部(下記(6))に申し出ること。)

(6) 受付場所(あて先)

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科事務部教務課総合文化大学院チーム

電話 03-5454-6050(6049)

Email daigakuin.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

【提出書類の詳細】

| 対象者 | 提出書類 | 詳細 | 備考 |
|---------|---------------|--|---|
| 一般選抜出願者 | エ．英語能力を証明する書類 | 出願時から起算して2年以内に受験したTOEFL(PBT又はiBT(「TOEFL iBT Home Edition」及び「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む。))又はIELTS(Academic Modules)の成績票(TOEFLについてはETS(Education Testing Service)から送付されたTest Taker Score Reportのコピーを提出すること。ETSからの直接送付による提出は認めない。)。なお、iBTの場合はネット経由で提示された成績票のプリントアウトを提出してもよい。ただしTest Taker Score Reportも取得しておくこと(提出されたものと後に照合するため)。 なお、TOEFL iBTテストのTest Taker Score Report(令和元(2019)年8月1日以降に発行されたもの)については、MyBestスコアのみを出願スコアとして活用する。(Test Dateスコアは活用しない。) | ア．英語圏の大学、国際機関などで発行されたアカデミックな英語力を証明する書類がある場合には、審査のうえ出願を受理し、TOEFL又はIELTSのスコアに代えることを例外的に認めることがある。 イ．英語以外の言語の能力を示すために、TOEFL又はIELTSの成績票に加え、その言語の能力を証明する書類を添付することができる。 ウ．TOEICはアカデミックな英語力をはかるものでないため、受理しない。 |

| | | |
|--------------------------------|--|---|
| <p>オ. 論文等 (PDF ファイル)</p> | <p>1. 論文 ア. 本プログラムの趣旨に沿った内容を持ち、過去3年以内に書いた卒業論文又はそれに準ずる論文1点。 イ. 上記の卒業論文等がない場合には、現在もっとも関心を持っている研究課題を、人間の安全保障の見地に立ってまとめた論文1点。</p> <p>2. 論文要旨 日本語又は英語の要旨。</p> <p>3. その他の研究業績 参考資料として上記論文以外の研究業績の添付を希望するものは、その業績、及び、A4判で各論文を2、3行程度で説明した一覧。</p> | <p>ア. 論文及びその他の研究業績は、必ずしも学術的な性格のものに限定せず、具体的な課題を追求した詳細な調査レポートなどでもよい。</p> <p>イ. 学問分野によって卒業論文にふさわしい分量は異なるため、論文の分量の上限・下限を定めないが、目安として日本語で20,000字程度又は外国語でそれに相当するもの(英語の場合5,000 words程度)を想定する。</p> <p>ウ. 論文及びその他の研究業績が、英語以外の外国語の場合には、日本語による全訳も提出すること。</p> <p>エ. 論文要旨はA4判で、日本語の場合には2,000~3,000字程度、英語の場合は500 words程度とする。</p> |
| <p>カ. 研究計画書 (PDF ファイル)</p> | <p>大学院入学後の研究計画を具体的に述べた日本語又は英語の「研究計画書」。</p> | <p>A4判で、日本語又は英語で作成すること。日本語の場合には2,000字程度、英語の場合は500 words程度とする。</p> |

注) 口述試験の際に、受験者は提出論文のコピーを持参すること。その論文の内容と入学後の研究計画を、最初の3分間で要約して述べることが求められる。

東京大学大学院 総合文化研究科 検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HP
からも
アクセス
できます！



<https://e-shiharai.net/>

学校一覧から、『東京大学大学院』または『東京大学大学院（中国決済専用）』のどちらかを選択してください。

『東京大学大学院』では、中国決済以外の払込を選択することができます。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い

セブン-イレブン

【払込票番号:13ケタ】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

ファミリーマート

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

Famiポートへ
↓
代金支払い
↓
各種代金お支払い
↓
番号入力画面に進む

【お客様番号】 【確認番号】 入力

ローソン・ミニストップ

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

Loppiへ
↓
各種サービスメニュー
↓
各種代金・インターネット受付
↓
各種代金お支払い
↓
マルチペイメントサービス
【お客様番号】 【確認番号】 入力

レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。

ペイジー対応ATM

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ペイジー)」を選択

収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】 【確認番号】を入力
↓
支払方法を選択
(現金またはキャッシュカード)し、
検定料をお支払い

ネット専門銀行

楽天、auじぶん、ジャパンネット銀行他

お申し込み確定画面から「ネットバンクでの支払い」をクリック

支払う銀行を選択して、インターネットバンキングにログイン
※一部、ブラウザを利用してしまった場合は、E-支払サイトの「申込内容照会」からログインしてください。その際は、11ケタのお客様番号が必要です。

払込内容を確認し、
検定料をお支払い(口座引落扱い)

ペイジー対応ネットバンク

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、「税金・各種料金の払込(ペイジー)」をクリック

収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】 【確認番号】を入力
↓
画面上で金額を確認し、
検定料をお支払い(口座引落扱い)



※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、
支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、
支払手続を行ってください。

支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して【収納証明書】を印刷してください。 ※プリンタのある環境が必要です。

3 出願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封して出願。

<注意>

プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

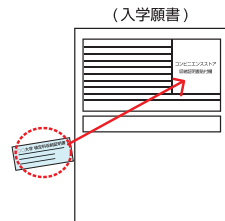


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の所定の貼付台紙に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間及びお支払い期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了しますので、23:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。